

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

特別会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名		包括的支援事業(生活支援コーディネーター配置事業)		A 一般事務事業	
担当部署名		健康福祉 局 長寿社会 部 長寿支援 課		シート番号 11-265	
		評価責任者(課長名)		羽野	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画	第3次地域福祉計画、堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30年(2018)~32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	<p>単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、NPO、民間企業、社会福祉法人等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことが求められている。</p> <p>そのようなニーズを踏まえて、平成27年度に中区において生活支援コーディネーター1名をモデル配置し、本市においても事業を開始した。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	<p>介護保険法第115条の45第2項第5号に定められる生活支援体制整備事業として、単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、社会福祉法人等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的としている。</p>			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>堺市社会福祉協議会に委託の上、次の①から⑤までの業務を通じて、NPO、民間企業、社会福祉法人等多様な地域資源を活用しながら生活支援や介護予防に係るサービスの基盤整備を行っている。</p> <p>① 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起 ② 地縁組織等多様な主体への全市的な協力依頼などの働きかけ ③ 関係者のネットワークづくり ④ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発 ⑤ 研修の企画及び開催</p> <p>平成28年度 中区においてコーディネーターをモデル配置 平成29年度 中区・南区において日常生活圏域ごとにコーディネーターを配置 平成30年度 東区・堺区に配置拡充 令和元年度 北区に配置拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	社会福祉法人堺市社会福祉協議会				

Ⅲ. 投入量

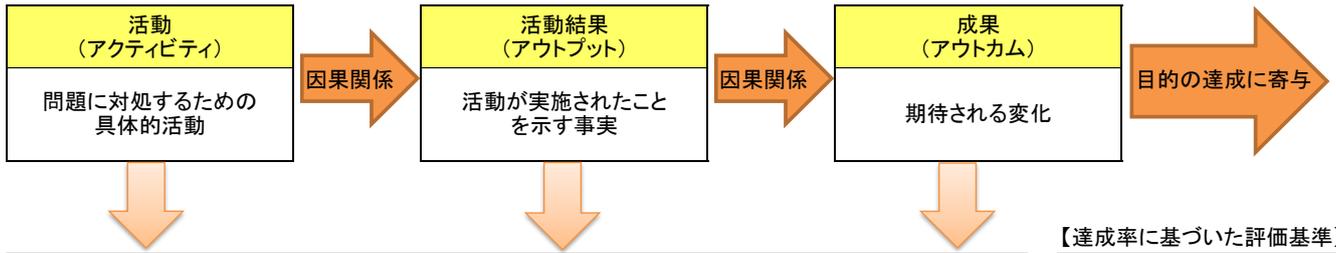
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費(a)	千円	7,428	45,626	73,029	88,337	
	主な事業費内訳	生活支援コーディネーター配置業務委託料	千円	7,428	45,626	73,029	88,337
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	4,345	26,691	42,174	51,015
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(第1号被保険者保険料等)	千円	1,634	10,037	16,797	20,317
		一般財源	千円	1,449	8,898	14,058	17,005
	12 人件費(b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,430	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	9,888	48,086	75,489	90,767		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	包括的支援事業(生活支援コーディネーター配置事業)	シート番号	11-265
-------	---------------------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>高齢者へ多様な暮らし方の選択肢を提供し、活動や場への参加などの社会参加を促進するため、下記の取組を通じて社会参加の場のひとつとして、アクティブシニアなどが活動者となる支え合い活動を創出し、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に関する社会資源の把握や活動情報の集約 (方法: 地域活動への参加、住民や地縁組織への地域情報の聴き取り、関係機関との情報交換など) ・把握した情報を住民へフィードバックし、地域課題の解決や資源開発に向けた協議の実施 (方法: 住民ワークショップ等の実施や意見交流の場面への参加/創出、情報発信ツールの作成など) ・地域課題の解決や資源創出に向けた、関係団体や活動主体者の調整や企画立案(プロジェクト化) (方法: 企業等とのネットワーク化、地域団体と企業等のマッチング、プロジェクトの立案など) ・プロジェクトの実現に向けた資源や団体のコーディネート (方法: 会議体/協議体の開催、場のファシリテーション、主体者への交渉/調整など) 							
	14	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	15	プロジェクト数	件	目標値	15	70	140	175
				実績値	14	87	219	
				達成率	93%	124%	156%	
				評価	普通	大変良い	大変良い	
	算出方法・設定根拠など		地域課題の解決や資源創出に向けた、関係団体や活動主体者の調整・企画立案数。配置区数×35件					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			目標値					
			実績値					
			達成率					
	評価							
	算出方法・設定根拠など							

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>積極的に地域へアウトリーチを行い、地域ニーズをつかむことで、場の創出を行うことができた。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。